

令和 7 年度

## 施工体験発表大会を開催

昨年11月15日(土)、施工体験発表大会が星陵会館で開催された。今大会では協力会社、グループ会社、学生等、約260名にご来場いただき盛大に開催された。

本大会の目的は、全社員がお互いにそれぞれの現場における特殊工法や新技術等を共有化し、新たな気付きに繋げること、ならびに各々の現場経験を論理的に分かりやすくまとめることで、プレゼンテーション能力の向上を図り、発注者や協力業者への提案、説明をより良いものとするにある。

開会に先立ち、株木社長は「変化を恐れず楽しみながら挑戦する文化を全員で育てていこう。変化を楽しむ心が私たちの未来を切り開いていく。ワイワイガヤガヤとみんなで語り合い、笑い合いながら、日本一の現場力を本気で探求し、結果で示していこう」と呼びかけた。



本年度の施工体験発表は、土木事業本部3編、建築事業本部3編、で構成され、各自日頃の成果を熱心に発表し、その後質疑応答が行なわれた。

審査は、株木社長のほか当社取締役及び執行役員、日本大学生産工学部村田康一教授の計19名の審査委員による最終審査を経て、下表の通り決定した。なお、最優秀賞は茨城本店土木部小澤恒太「地域に密着した堤防工事」が受賞した。



## 【発表された6編のテーマ】

| 番号 | 部門  | 発表者   | 発表テーマ                            | 審査結果 |
|----|-----|-------|----------------------------------|------|
| 1  | 土木部 | 富田 明裕 | ワイヤーソーイング工法を用いた鉄筋コンクリート構造物の撤去    | 努力賞  |
| 2  | 建築部 | 渡邊 渉也 | 工期短縮に向けた埋戻しの工法とクイックアップ工法(支保工)の採用 | 努力賞  |
| 3  | 土木部 | 小澤 恒太 | 地域に密着した堤防工事                      | 最優秀賞 |
| 4  | 建築部 | 沼崎 弘道 | 安全なPHC杭の撤去工法                     | 優秀賞  |
| 5  | 土木部 | 石井 聖也 | 河川内締切鋼矢板の変状対策及び鉄筋防護対策            | 努力賞  |
| 6  | 建築部 | 浅野 忠繁 | プレキャスト・プレストレストコンクリートと鉄骨の混構造      | 優秀賞  |

最優秀賞  
発表概要茨城本店 土木部  
小澤恒太

## 地域に密着した堤防工事

## R4久慈川右岸矢田地区整備工事

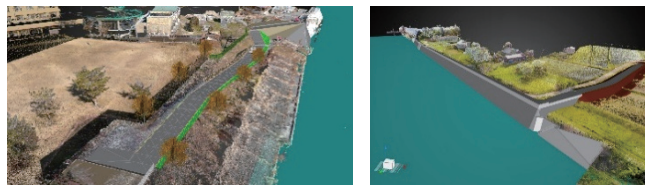
令和元年10月の台風19号により甚大な被害が発生した久慈川水系において、国、県、市町村が連携し、「久慈川緊急治水対策プロジェクト」が発足された。

当工事は、久慈川右岸65km地点（茨城県久慈郡大子町）において、治水対策を目的とした築堤及び樋管の新設を行う工事である。周辺は観光地として知られており、工事においても温泉施設の敷地内を通行する工事用道路や隣接する宅地を施工ヤードとして利用する等、地域と密接に関わった工事であった。

近隣住民・地域との協力関係を重視した地域PR活用を主として、現場で行った様々な取り組みについて発表した。

## 近隣住民や地域の方々に工事の理解・協力を得るために実施した数々の取り組み

## 3Dモデルにより近隣住民と工事のイメージを共有

フラットパネルで安全対策  
グリーンネットで景観への配慮

## 現場ホームページを開設



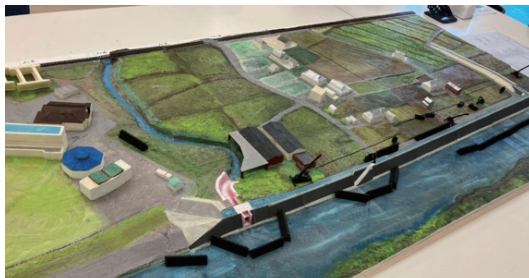
## 現場見学会を実施



## 転落防止柵の色を公募して決定



## ICT機器を駆使したi-Constructionの取り組み



3Dプリンターによるジオラマを作成し、重機配置などを可視化することで、言葉だけでは伝わりにくい部分も共有することができ、協力業者との打合せ等をスムーズに行うことができた。

## ・横堤盛土におけるICT施工の活用

盛土  
(敷均し、転圧)

9t級ブルドーザー



法面整形

0.8m3積バックホウ



今回使用したICT建機は自動整地アシストや設計面で刃先が自動停止する自動停止・最短距離制御機能が搭載されているため安定した品質を保つことができた。

また、丁張、法勾配確認の作業や人員も削減した。